

ケーキ屋さんに、アクセサリ屋さん

おみせやさんをつくろう

「おみせやさんをつくろう！」ワークショップが3月29日、岩瀬文庫で開催されました。集まった子どもたちは、制作が始まると折り紙やカップ、発泡スチロールなどの材料に駆け寄り、父母と一緒に商品を作り上げていきました。食器洗いスポンジを使ったケーキ、毛糸を使ったスパゲティ、アルミホイルで作ったアクセサリなど、次々と商品が完成。終わりには、段ボールを飾り付けたお店と、紙で作ったコインを使って、「おみせやさんごっこ」を楽しみました。



なつかしの和だこ作りに触れる

米津ふれあいセンターたこ作り教室



たこ作り教室が3月15日、米津ふれあいセンターで行われました。三州西尾麻の会の杉浦忠幸さんが講師を務め、まーちゃや米津小学校のマスコットキャラクターこめたん、アニメのキャラクターなど自作の絵を描き、和だこを作りました。参加した子どもたちは「ひもの長さを図るのが難しかった」「たこ作りの基礎が分かって楽しかった」と、和だこ作りを存分に楽しんでいました。

世にも珍しい書物を分かりやすく解説

岩瀬文庫特別講座

岩瀬文庫特別講座「今年度の調査からわかったこと Vol.12」が3月15日、岩瀬文庫地階研修ホールで行われました。この講座は、12年度から継続して行われている岩瀬文庫の全資料調査で見つけた成果などを紹介するもので、講師は調査会のリーダーを務める名古屋大学教授塩村耕氏。三河と尾張に関する珍しい古書や、楽しい絵巻ものなどを分かりやすく、丁寧に紹介していました。聴講した参加者は、その興味深い話を熱心に聞き入っていました。



愛知こどもの国に新しい施設

中央広場ステージ完成イベント



愛知こどもの国の中央広場に円形のステージが完成したことを記念して、こけら落としイベント「春まつり」が開催され、4月4日、このステージを使った初めてのステージイベントが行われました。地元の幡豆民舞会の皆さんをはじめ、はずみや幼稚園の新年長児や東幡豆保育園の園児が演目を披露。観客からは大きな拍手が送られていました。そして、ステージを囲むように設けられたボールすくいなどのゲームコーナーからは、子どもたちの歓声が響いていました。



春の訪れを告げる桜の祭典

みどり川桜まつり

西尾みどり川桜まつりが4月4日、名鉄西尾駅西側の中心市街地一帯で行われました。春うららかな日差しの下、みどり川並木会場では、金魚のつかみどりや鶴城丘高校音楽部の演奏などが行われ、琴の音色を聞きながら、無料接待の抹茶を楽しむ姿が見られました。歴史公園会場では、カフェや雑貨屋が軒を並べる「サクラハナイチ」も行列ができるほどの大盛況。両会場で行われた西尾コスプレ桜まつりには、市内外から約150人が参加し、祭りに華を添えていました。



伝統の味に舌つづみ

体験学習会 七草粥^{がゆ}を食してみよう



「七草粥を食してみよう」が3月29日、いきものふれあいの里で開催されました。日本の行事食として古くから伝わる「七草粥」を知ってもらおうと、講師の中西普佐子さんの指導の下、体験学習会として行われました。この日はあいにくの小雨模様でしたが、参加者の皆さんは屋外へ出て、春の七草などの草花を真剣に観察していました。その後「セリ」や「ナズナ」などを使った七草粥、摘み草の天ぷら、「タンポポ」や「スマレ」を使ったサラダ、菜の花のあえ物など多彩なメニューを手際よく調理し、見事に出来上がった皆さんの料理を美味しそうに味わっていました。

市民の皆さんの生命と財産を守るために

市消防団入退団式

西尾市消防団入退団式が4月5日、一色地域交流センターで行われました。式典では、一色・吉良・幡豆の各消防団の団長に市長から辞令が手渡され、代表して吉良消防団の天野正巳団長が「皆さんが築き上げた消防団魂を引き継ぐことを約束します。団員の皆さんは自信とプライドを持って消防団活動に励んでください」とあいさつを述べました。最後に、会場に集まった関係者全員で「火の用心三唱」が行われ、市内の無火災・無災害を祈念しました。



吉良消防団が出場します

愛知県消防操法大会出場団結団式



愛知県消防操法大会出場団結団式が4月5日、一色地域交流センターで行われました。第60回目となるこの大会は8月8日に豊川市で開催され、今年度は吉良消防団が出場します。選手は指揮者が平井学さん、1番員が森下竜さん、2番員が荒川浩明さん、3番員が鈴木康史さん、4番員が藤井智啓さん、補助員が富永直希さんの計6人。選手を代表して平井さんが「目標を達成し、やってよかったと思える大会にできるよう精いっぱい努力することを誓います」と決意を語り、会場からは大きな声援と拍手が送られていました。